





(一) 面より読み

各方面より敵と迫し、深河右岸に進出せし我兵團は、到る處敵に大損害を與へ三月拾日午後には全線殆ど深河の北方約五里の處と占領し三月拾日依然追撃中なり

三月拾日朝沙河を出發して北進せる我兵團は出擊時より敵の大艦隊北方に迫進するに遭ひ、接戦船數に包圍して撃たせしめたり、奉天附近は尙散兵の抵抗を蒙りは抄降し來るものあり

敵の遺棄せし死体は各線上至る所にいく未之を所置するの暇なし各所に於けるの損傷は未詳なり、其の死者傷者捕虜も、物品も亦甚多なりして數報綴録に於ては、積んで迄の如く容易に計算する能はず三月十日迄の如く得たる捕獲の總數は二萬にして尙續々増加し三萬以上に至る目見たり

●未曾有の大捷

死傷拾貳萬を越へ捕獲四萬以上

(十三日午後三時發電)

▲趙秉世の歸國 4回の通信に、元老として多少の實をなして、頑迷加に推され居る趙秉世、僅差を以て是を意見投合せざるものと見え、昨日陛下に對し、切りに崔の免官を擧上したと聞く

▲中學教師の請願書 昨、日外部より高橋亨氏、原壽子らにつづき、其請願書を外部に致し、速答を求めたが、尙期限二ヶ月、俸は百五十圓、賃屋費二十元なりし

▲通納返納請求 度支部より各府部院廳に通知を發して、各官吏の納法を行ひたる結果、本年度還算より過剩律給付金を返納すべしと請求せり

▲事務長召還 駐清韓國公使館職員は何等なる事務なければ召還せらるゝ方然るべしと我公使より外部に照會を發せり

▲水道工事に對して 米公使の異議 漢城府内水道各工程は電氣會社に於て已に特權を得たが、然かも六普道に現今水道を敷設しつゝあるは何の爲めなるか、若し該臨時水道建設會社を解散せざれば、政府は實に大問題を生起するに至るべしと米國公使より外部部に照會を發したり

▲書奏の内幕 先日趙秉世入侍の時書奏を

件圖分編號を機りぬのみならず其管轄區域の亦全群廣大に亘り折々の出張巡回且つは停車場の取締もあるとなれば到底今日の小人員にては不可能なるべく警部以下殆んぞ目を通はしつゝあるのや様にて一般人民の不便も尠からざるとなれば此際巡査の増派を乞ひたれどもなり

▲商況一斑 茲地昨午の商況は猶ほ一般に鈍氣を免れず紡績糸のみ稍々活潑にして相場は十手百三十圓拾六手百參拾參圓金市牌即壹元六圓七拾五錢二高即六圓四拾五錢銀金市九社丹即八圓貳拾貳錢粉ヘレンス會斤壹圓五錢全ス八圓貳拾壹圓拾五錢全香油壹圓五錢紋銀子壹反壹圓七拾五錢五錢上松印參圓七拾五錢三合糸扇壹反參圓六拾五錢二合糸龜參圓八拾五錢位の捌けなり（松前出張店談）

▲客車庫の建築 當縣市内に建築中なる客車庫は既に大宇工事進捗せり

●學校新築工事 當浦公立小學校は連日不慮の災難にて焼失したるを以て數個所の假設場にて教授しつつあるが四月より舊校地に再築工事を着手すべしと

二三 此社は、  
の手で賣  
て賣  
と  
と  
あり  
一昨  
た  
下  
新聞  
九に  
二日  
二日  
が氏  
國籍  
之を配分する事が出来る」と云ふので韓國國  
海運聯合會資會社の事業は茲に大々の好  
を呈して來た次第である。  
前にも云つた通り韓人の體を使用する量  
日本人よりも多いので此三百萬人に對し  
一年少くとも百萬俵の輸入を要する。  
れを金貨にすると、**百万卅四圓**  
である。此丈けの大輸入は該社の獨占と云  
ても差支へない。鹽でも獨逸鐵でも又は  
鹽でも其價格に於て其品質に於てやうし  
も盛鹽・鹽爭する事は出来ない運命を持  
てゐるのである。  
處で會社の方では一俵に付て金十錢の利  
があるとしても一年の純益が金十萬圓に  
當る譯で會社に據つて此の如く結構な  
利益と云ふものは外にあるものでないか  
否。海運の產出額はさうであるが、  
是丈けの品を毎年一買はうとするのである  
海の製造元では毎年何程の產出額がある  
との疑問は直に入の胸中に浮ぶ處であら  
う。尙殘では三十六年度には總計一億一千  
の產額があつた。此は五百二十町歩の鹽  
から製造したものであつて之を俵にすめ  
百十万俵にしか當らない。それを韓國の

商業をせし民  
 方權利品出  
 於。衆地事  
 二十萬、  
 十千石、馬糧  
 里分、同運  
 支那那二  
 分、一百  
 五千萬其  
 船形に選  
 利物品等は  
 は在りては

趙梁式復任と斷言す 韓人の探報に曰く、  
 參政大臣趙秉燾、內務大臣趙秉世を宛官して  
 ることと、鹽川通譯官は參政を訪問し我公使  
 の言なりとて趙梁式復任の事を擧めたり  
 ▲從任上 辛卯八月十六日、六時日本公使館よりし  
 て趙梁式復任の事を上奏せ

▲趙梁式復任の命令 京報、光緒三十一年  
 丙申四月二十二日、諭令を發したるが如し、  
 其の略に曰く、管下各部に禮學を教誨するは  
 舊習を變ぜず、以て民をして利己厚生の一  
 道と爲せしむる爲なり、然るに人長何れモ  
 舊法の知らず、之れに従事するを以て終日  
 なん論を得る事實は甚だ多からざるや、一  
 つい二十歳以上四十歳以下にして多少の  
 學を解するものを選擇し、三府迄の本部  
 監業試験場に入塾せしめ訓養法を傳習卒業

會の本年  
 の三月  
 五千余圓  
 六百圓土  
 方に衛生  
 今日の  
 これ  
 最も  
 外  
 勝服  
 從來の分  
 金銀  
 加ふと  
 旅

等小學校は尋常科と併置され二部制としつ  
 つありしが別校の如く尋常小學校再興に就  
 て同時に高等小學校新築して分置する由に  
 て目下其の設計算當中也

同濟業組合起る 當韓國仁川釜山其他  
 本鎮商馬山等二地から同濟業者は今  
 後交通の事業起る可なりと其一致の行  
 動を執るの必要あるを以て該組合を設置す  
 る計畫にて既に着手されたりといふ

洗濯と洗濯業 當韓國入一般の着衣は  
 四季共に白色にして直ちに汚穢をせするに  
 よし洗濯業の如き甚だ希薄なり或より一般  
 貧賤に居る今日と江蘇業の設立の如き甚だ  
 困難なとて且の彼等は生活競争の程度甚  
 だ低きが爲めに敢て洗濯業を煩はして迄モ  
 自己の着衣を清潔にするが如き事なければ  
 該業の前途は頗る希望あるを今日に於ては

任官  
 如く  
 得且  
 成功  
 願寺  
 花の  
 なる由  
 りる尊  
 めるを  
 地於

が處で喜洲では總督府で貳万町  
 の新鹽田を設備して毎年四  
 億萬斤の產出を見る様になつて居  
 から日本内地に要する毎年十一億萬斤  
 鮮の一億萬斤を盡く供給した上滿  
 にも西比利亞にもシ  
 入する事が出来るのであふ  
 臺灣國の日本内地賣物はさうである  
 喜洲縣の内地一手販賣特許を得たは小  
 次郎氏で明治十三年と向ふ十年の創  
 次郎然るに小栗氏が始めて内地に輸入し  
 五万俵の賣行甚だ面白からずして明年  
 越した程であつたけれど其翌年から  
 に好況を呈して明治三十六年の大阪博  
 の頃には已に一年分の輸入額は賣約  
 となつた位で此時分迄は小栗氏の手で日

任に要求  
 借款公債  
 謀に全ての  
 の爲め暫時  
 に回答した  
 引見せらる  
 事なし

▲伊多利公使請求の内容  
 同公使の請求  
 する金庫合同契約内容は二個年以内に金庫  
 の建物を指定すると年限を二十五個年以上  
 せしめて税金は百分の二十五以下とする  
 の條件者  
 ▲大蔵任命なし  
 内閣大臣の任命は既に  
 定りたるが如く陳するものあれば未だ其の

位官車に  
に於ける  
なりしも  
番列車の  
祥にて客  
航に於て  
なし旅客  
云ふ

●渡邊氏の石輪製造所経営　香港南豫可  
の貿易業者渡邊文治氏は過般中より石輪製  
造の計畫を以て不日實現するを由にするが岡  
氏は畜牛供給組合等に關係せられ居るを以  
て原料等と就ては別に何等の齟齬を感ぜら  
るゝこと無るべし尤も韓國一産自衣の服裝  
れば造々該品の要求に希望ある。おとは岡  
人も承知する處なれば目下の如き洗濯用で

上 日本釜  
旅館へ  
どの事である。左すまば台陽關なるものに韓國に於ける日本國及轉運を原日本もてなく日本内地の市場に於ける日本もも驅逐する勢である、因に言つて置く。吳富次郎は臺灣が總督府の專賣になつら其特許を取消されたけれども尙舊縁あるので一旦小栗氏の手を拂下けて多手數料を取つた。再び之を政府に賣込に相續して爲つてゐるさうな（一）



小説

英國  
コ  
ート  
ンド  
イル  
署

世良田は例も注意して近邊を通過したが只  
若石の麓々に轉がつてゐる野原の中には自  
分と波月と二人の人影しかない、二人共に  
馬に乗つて二人共に充分武装して。  
世良田は心の中と思ふ、自分は是から一  
理の道を急いで英軍の陣營に行く必要があ  
らうかと。  
ある事を信ずられけども我第六輕騎隊中  
第一位の儘の劔に敵する事は六ヶ敷いと斷  
言するです。  
波月は此こ答へず世良田の頭を口掛けて煙  
草を切り付けた、世良田は巧みに手を添  
けて波月の軍帽の飾毛を半分程切り拂つたか  
ら波月は再び世良田の胸元を眼かけて笑ひ

まう、此時の世良田の心中を明白に云ふて見ると別に自分を助けて呉れた悪人に對云て惡意のあるものでもなく亦夫に對して卑劣な惡意する調でもないが、七賢なるべきものが其部下に對する責任は自當に尤も弱くなくてはならぬのだ。うれから觀察するものは一定の約束の下に歸らるゝもの

來た、世良田を引かして彼の軍帽の飾の白紙を削り採つた。

彼の様な眞似をする方やないかい。

と波戶は唸つた。此時世良田の馬の頸に口を

に方向を變へてゐたので、

世君は何故に僕を切るのです、僕は決して君を斬らなかつたのに」

て其の果能なるものが存在しなくないば  
最早戦闘するの資格がない、例へば世良田  
が勝つたの資格をしてゐたところば、例へば  
戦闘するの資格が無ければ、それから若し  
逃出する様な事があれば實に不名誉の隨  
とならぬのである。

而しながら世良田はまだ宣誓をさせられな  
い。

それはどうでも好い、吾には是非我欲  
するの隨處まで來なければならぬ。

世に降参せども行くものなれば、僕はう  
れい。

眞平御免だ。

●人力車賃  
同業者者ニシテ往々不  
の賃金を請求するべからざる者あり左ニ急  
を賃金を紹介せん。

つた。

餘り信用し過ぎた爲めと一騎兵の乗馬が負傷してゐた爲に渡月氏は世良田に向彼と同等の權利を有せしめた譯で、若し世良田氏が反對に渡月氏を擁護したならば實際渡月の世良田に於けるが如く丁重に且親切に取扱ふのであつたらうが是と同時に彼の劍を服

東 乘	片道
山 嶺	一圓參拾錢
停車場	六圓十錢
藥 場	二圓十錢
理 所	參十錢
全 全	五十錢
全 全	二十五錢
全 全	四十五錢
港内	十五錢
引越る	十五錢
其の場所	草梁停車場の

けて飲くのでもうたうらうに。  
 上上げる事と少くとも一人の衛兵又は附  
 度良田は馬を止めて此事を波戸に語す。同  
 時に、昔し世良田が此處から波戸に分るゝ  
 ならば其分名に傷が付くと思ふかどうかと  
 言ふ事を尋ねた。  
 波戸は此を考へてから、例の馬鹿野郎、畜  
 一時間待たずに八鼓、晴天中に夜中十二  
 近一溜増其他悉割、雨天花雨の際には  
 間二割、夜間十二時迄三割某池五割  
 ●酒は殿の下に飲み  
 半町二丁目十八番地小。喜八郎三三は  
 番地先道路に於て何處で飲んだか泥酔つ  
 大呼して通行人を引撞へて答を巻いて過

生と云ふ意味に現れぬも感ずして、  
「君は逃げるつもりだな」と  
叫んだ、世良田は沈着いて、  
「若し今の話に君の反對する理由を示され  
ないならば、  
「只さう理由として君が答ふるのは君が逃  
げるつもりなら直に君の首を打断す迄の事  
小言で之れから酒は罎の下に飲んだが好  
く言ひなせよ」と世良田は又か否定の  
小言で之れから酒は罎の下に飲んだが好

にては道路にて本旗を懸し、推戴、全町三丁目、肉賣、川口馬七は、新語に、廣告紙を添付、▲大町、通路に、陣人数、寄席店、▲町三丁、百六十番、通路、賣、寄席、街外一人は、街路に、旗展し、なる、旗にて、何れも、  
● 笑 草 ● お笑子悦

●大商店訪問記 (續)

▲河内山米穀店 (南風町)

店主河内島田氏は對稱の先主、航海業に従事して舊津島船渠を造り、後阪・常滑に移して鹽業、其他の商業に就き、先災以後現今の勢に從へり。記者の訪問は、被し店員某氏は今日迄の登山遊樂を説く、ある頗る、詳かにして米穀店開業を就いて歸りて曰く、最米穀店と主人の目的、をさげませんでして、其のころろろは只遊んで居つたので、有に對しては、濟かざらんで居つた。執務を開く事になつたもので、能くして轉入、由、商法に慣れて來て、振替、巧、妙、になつて居りますから、從前の機

附註モとさいます云々  
 山川具興實業店 (幸町)  
 同店は辨大町山鹿橋所と關係ある商店あり  
 開張日猶ほ淺けれど、總所の宜しき店前の  
 裝飾宜しきに依り、客足ありといふ起者の勢  
 間に接し店員曰く由に同業者が津山とい  
 います、おれども結構で弗々足るこいとい  
 す店止は唯今編纂中とにさいます、益々増  
 張の方針を取つて居ります云々  
 芝居店  
 例の幸町松井座に於ては、  
 一時店中より、一昨夜より、  
 の嵐三津樹一座の女芝居に更て、今回大阪  
 飯市川崎蔵に出張演劇中にて、非常の大入  
 りと因に本店の盛況は

前住員 眞鍮白丸屋が駒才三  
毛在利六助住家が段

四都

▲書は夫を拉して満洲の地を踏破して西比利亞深く進出し土民に文明的智識を注入したのが仰天たるや柔順にして此の罪難の報立を歎

▲(當世歴史女史) 雷と思ふドクダ青年諸君落し流れぬよ土地相違なく好む暇國民元氣達成の等々しかり御互に堅靱柔術何んでモ生武藝の道程を知つて、ハ、ディーナ(野馬生)

▲町観察者君未光る知らざるも日字文化で

八路

時

同、部

グミ

三七

切

廣告  
 おしろゐ化粧水  
 花札かるた才類  
 新銭入葺入袋物  
 香水香油石鹼類  
 其他足袋麻裏雜貨小間一切  
 釜山西町三町  
 諸君問屋  
 明治屋  
 解雇廣告  
 赤組々員 有田森太郎

御得意各位  
 赤組  
 一貨藏  
 中上回漕店  
 電話二四〇  
 唐津石炭  
 國安商店  
 神保ヨシ

**寫眞影** 釜山掛天町  
釜山全居各鐵道韓人風俗各種アリ  
**平井寫眞館**

**材木建具** 富平町稻米所側  
**廉價販賣** 平松商店

**磨擦米廉價販賣**  
富平町 岡本商店  
(電話三拾番)

**板材木廉價販賣**  
其他石炭竹瓦 島末商店  
府濱海岸

**青物乾物** 西町丁百  
遠藤商店

砂糖麥粉  
 會席御料理  
 仕出し  
 春日  
 立志社  
 活版印刷  
 純良牛乳  
 小供入用  
 配達迅速便利

支那料理 東京そば 東庵  
 勉強御下宿 伊豫屋  
 精白米 廉價販賣  
 石岐米 西原商店  
 清櫻正宗 西町三丁目  
 酒櫻魂 上西酒店  
 歌時計各種 附屬品 修繕 一色 米

電氣メッキ金 金銀、赤銅、  
素町一丁目 園田時計店  
(電話二〇〇六)

各種時計保險附修 終結並  
迅速可憐廉價ヲ主トス  
釜山港西町三丁目一番地  
嶋田地賞堂

●卷煙草●刻煙草  
宇治錦細圖製  
●銘茶●各種石  
●齒磨●麻裏草履  
石卸小賣共天勉強  
南境小島屋前


血を増し肉を肥し弱を強にする  
**蜂印葡萄酒**  
 強壯の飲料は本品に如くものなし  
 韓國下 釜山泰町丁  
 輸入元 **合 齊藤支店**  
 (電話番號一四四)  
 下 嶧親切 兩漢地柳井旅館  
 六番町  
**調劑所**  
 處方調劑に依頼に應ス

萬小問物類  
並三石鹼足袋  
下靴糸化粧品類

右其水賣其致敏安價販賣  
岩手縣下

獸醫  
中尾祐作  
電話四拾四番

釜山本町  
弓削靈藥館


 九はこ  
 新荷着  
 靴  
 筒井  
 町 濱 南  
 取扱は親切丁寧に  
 京金銅道沿線  
 三浪津河岸  
 龜屋  
 強 勉 旅 館  
 家屋は新築清潔工  
 眺望は風光明媚具

小間物  
雜貨

販 賣  
價 廉  
屋 九 三

日朝寫眞館

寫眞成  
●

營業開始廣告

當地水產物市場豫テ建築中ノ處  
今般落成ニ付本月十三日ヲ以テ  
營業開始致候間此段廣告仕候也

京城南大町外  
株式會社  
京城水產物市場

精養軒の牛乳

滋養豐富  
 磯村牧場  
 牛乳  
 精養軒  
 一瓶金  
 六錢  
 精養軒  
 精養軒の牛乳  
 精良無比  
 濱口儀兵衛

最上醬油元祖  
 第六號別指合  
 宮內省御用達  
 上  
 會覽博大國英易路惠  
 領受牌金譽名  
 大橋入 一華人、西合販話ア、  
 近來奸而、モ空樽ニ偽物ヲ詰込  
 賣入、モ空樽ニ偽物ヲ詰込  
 御買求之節封  
 錦田商店  
 釜山西町三丁目

昨夜近火之節ハ早速御馳付被下難有奉拜謝候混雜中御尊名伺漏毛可有之卜存候間乍略儀以新紙御厚禮申上候

家具商 桑野支店

辨天町三丁目

謝候出難中御尊名伺  
濁モ可有之下存候間  
乍略儀以新紙御厚禮  
申上候  
宅名會社特約代理店  
清酒商 長好商店  
古着古道具刀劍古書  
畫タテマツ金銀賣買並質屋  
其外何品ニモ高値ニ申受ベク候  
西曆三月石川醫院西隣  
鈴木商店

弊店義從來西町三丁目  
 目ニ於テ營業罷在候  
 處各位ノ御愛顧ニ依  
 日ニ増シ繁榮ニ赴キ  
 候段難有奉謝候然テ  
 今般西町二丁目荒木

廣 告

三軒茶屋  
 Restaurant  
 町一丁茶屋  
 一五一話

酒場跡ヲ買受移轉仕  
リ酒類四季釀造販賣  
を開治シ山サ印醬油  
ノ韓國一手特約販賣  
モ益々擴張致可寧確  
實ヲ主トシ御便利ヲ  
相謀可申候間倍舊御  
引立之程偏ニ希上候  
尚諸親共從來ノ通販可仕居候  
西町三丁目



<p><b>袖島</b></p> <p>和洋及物類 東京香泉屋敷 京阪最新流行御履物一切 其他嗜好小應「調進可任美」 伊豫大洲 釜山港南濱町支店 小野茂</p> <p><b>袖島商店</b> 電話一三三番</p>	 <p><b>旅館</b></p> <p>京城泥鰌一號地ニ在リシテ契約起業民刑訴訟等汎ク法律事務ヲ取扱フ</p> <p>護士會辦護士皆川廣濟</p>	<p><b>齒科專門</b></p> <p>其生醫院假治療所</p> <p>味噌、醬油、銀粉、墨表 ラボロイアル・ライオン 清酒、燒酎、石鹼類賣</p> <p>草梁莊宅 <b>北海屋支店</b> (電話架設中)</p> <p>町三丁目(下條氏ノ隣) <b>北海屋西町支店</b></p>	<p><b>柏寺鐵詰製造所</b> (一話架)</p> <p>富平町四十二番地 北海屋所屬</p>
--	---	---	---